



2027年度

早稲田大学大学院法学研究科

入学試験要項

2027年4月入学
修士課程 国外特別入試
※外国在住学生(中国地域)対象

早稲田大学

○「外国在住学生（中国地域）」とは

本入学試験における「外国在住学生（中国地域）」とは「日本以外の外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者」で、かつ現在中国地域（香港、マカオ、台湾含む）に居住する者のことを表します。

※本要項は、「外国在住学生（中国地域）」向けの入試要項になります。該当しない方は、6月中旬に公開予定の一般入試の入学試験要項を確認のうえ、出願手続を進めてください。

※外国籍の方であっても、日本において16年目の課程を修了している方は「外国在住学生」には該当しません。

※「外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16年目の課程」を修了した者」という意味です。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。

※初等～高等教育までの正規の課程の年数が16年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。「学歴確認フォーム」を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、早稲田大学国際アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

- ・学歴確認フォーム ダウンロードサイト

<https://www.waseda.jp/inst/admission/en/graduate/japanese/>

- ・問い合わせ先メールアドレス

admission@list.waseda.jp

○個人情報の取り扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

なお、本入試においては、株式会社サマデイ（<http://www.samadhi-group.com/>）が提供するオンライン出願システム「The Admissions Office」を使用します。本システムの利用にかかる個人情報の取扱については、以下の内容をご確認いただき、予めご了承の上、出願をしてください。「[The Admission Office 利用規約（早稲田大学）](#)」

目 次

●修士課程 国外特別入試要項	
1. 募集専修	1
2. 受験要領	2
3. 入学手続	12
●法学研究科案内	
1. 専修からのメッセージ／配当科目	15
2. 奨学金制度	15

2026年5月2日（土）～5月6日（水）および土日祝日は、本研究科事務所は事務取扱をしていません。お問い合わせは時間に余裕をもってご連絡くださいますようお願いいたします。

この入学試験要項では、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ、スマートグラス、ワイヤレスイヤホン等（Bluetooth、Wifi、データ通信等、日時・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器）をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

1. 募集専修 (2027年度担当しない者を除く)

専攻名	専修名	研究指導担任者				
民事法学専攻	民法	青木 則幸	秋山 靖浩	石田 剛	大澤 慎太郎	大塚 直
		大場 浩之	金子 敬明	三枝 健治	白石 大	橋本 有生
		山口 齊昭	山野目 章夫			
	商法	尾形 祥	黒沼 悦郎	小出 篤	鳥山 恭一	箱井 崇史
		福島 洋尚	若林 泰伸			
	民事手続法	内田 義厚	高田 昌宏	勅使川原 和彦	中本 香織	松村 和徳
		山本 研	渡部 美由紀			
	労働・社会法	大木 正俊	菊池 馨実	竹内 寿	水町 勇一郎	
	知的財産権法	上野 達弘	鈴木 将文	ラゲマッハ クリストフ		
	環境法	大塚 直				
経済法	岡田 外司博	中里 浩				
国際関係法(私法)	久保田 隆	白木 敦士	種村 佑介			

専攻名	専修名	研究指導担任者				
公法学専攻	憲法	愛敬 浩二	江原 勝行	金澤 孝	山本 真敬	
	行政法	下山 憲治	田村 達久	人見 剛		
	刑法	遠藤 聡太	大関 龍一	北川 佳世子	杉本 一敏	田山 聡美
		松澤 伸	松原 芳博			
	刑事訴訟法	大澤 裕	小川 佳樹	稗田 雅洋		
	刑事政策	小西 暁和				
国際関係法(公法)	河野 真理子	酒井 啓亘	萬歳 寛之	古谷 修一		

専攻名	専修名	研究指導担任者				
基礎法学専攻	法哲学	※2027年度は募集停止				
	法史学	宮坂 渉	和仁 かや			
	法社会学	高村 学人				
	英米法	安部 圭介	中村 民雄			
	フランス法	大橋 麻也				
	ロシア・東中欧法	渋谷 謙次郎				
	中国法	文 元春				

※上記内容は変更されることがあります。その都度更新しますので、定期的に確認してください。

※募集は、指導教員単位ではなく専修単位で行ないます。指導教員は学生の研究内容を考慮して決定します。

2. 受験要領

(1) 出願資格

以下①～③のいずれかの要件を満たしていること必須とします。

- ① 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者。
- ② 外国において学校教育における15年の課程を修了もしくは2027年3月までに修了見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
- ③ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年4月までに22歳に達する者。

※上記の要件に加えて、出願時から合格者発表まで中国地域(香港、マカオ、台湾含む)に居住していることが出願条件になります。

<出願資格に関する注意事項>

※本入試への出願者は、8～10月に行われる本研究科修士課程一般入試と併願することができます。

※日本の大学の学部を卒業(見込)の者または大学院修了(見込)の者は、本入試への出願資格はありません(海外の大学と日本の大学の学位を同時に取得するDouble Degree Programも含む)。該当する方は一般入試への出願となります。一般入試の要項(6月中旬公開予定)を確認するようにしてください。

※最終学歴が中国の大学の専科(3年制)の場合には出願資格はありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業した場合は出願を認めます。

※上記②③に該当するか不明な方は出願に先立ち、締切までに十分な余裕をもって本研究科までお問い合わせください(問い合わせ先:gradlaw@list.waseda.jp)。

本学(学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。)の教員は、**本学の学籍を有することができません**ので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

(2) 募集人員

修士課程	民事法学専攻	若干名
	公法学専攻	
	基礎法学専攻	

(3) 出願期間

2026年5月11日(月)10:00～5月15日(金)23:59 ※日本時間

※出願書類の提出は出願システム“The Admission Office (TAO)”より受け付けます。

※出願期間内に必ず入学検定料の支払いおよびTAO上での出願を完了してください。検定料の納入が確認できない場合、またTAOの出願が完了となっていない場合は受理できません。

(4) 入学検定料 15,000 円

入学検定料支払期間：2026年5月11日（月）～5月15日（金）23:00 ※日本時間

※入学検定料支払期間を過ぎてからの支払いは一切認めません。

※入学検定料はクレジットカード・中国オンライン決済で支払ってください。

クレジットカード・中国オンライン決済

・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。

・支払い終了後、決済完了が表示されたWebページをPDF化し、オンライン出願システム(TAO)にアップロードしてください。

・支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です(納入最終日は、日本時間23:00までにカード決済を完了させてください)。

・支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。






・e-shiharai.netの「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	法学研究科
第二選択	2027年4月入学
第三選択	修士課程
第四選択	国外特別入試 15,000円

※支払方法詳細は、次ページを参照してください。

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。     

Web申込みオンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net>

※未承認の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



- | | |
|-----------|---|
| 1. トップページ | お支払い先を選択してください。 |
| 2. 学校選択 | 申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。 |
| 3. 学校案内 | 注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。 |
| 4. カテゴリ選択 | 第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック |

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※American Expressの場合は15桁
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯端末をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カードの場合

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



出願

出願時には、「申込内容照会結果」の画面 (PDF) を
出願システム (TAO) にアップロードしてください。

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。
支払い期間を入力事項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	565 円
30,000 円 ～ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ～ 89,999 円	1,833 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ～	4,400 円

※事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

(5) 出願方法

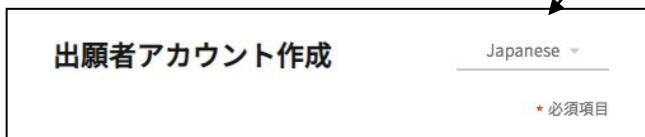
オンライン出願システム「The Admissions Office」(以下、TAO)より出願申請および出願書類の提出を行ってください。
手順は以下の記載のとおりです。

※TAOへの入力は、出願開始時刻(2026年5月11日(月)10:00※日本時間)から可能となります。必ず「出願を完了する」ボタンのクリックまでを、出願期間内(2026年5月11日(月)10:00～5月15日(金)23:59※日本時間)に完了するように行ってください。

① TAO (<https://admissions-office.net/ja/portal>) にアクセスし、「会員登録」を選択



② 出願者アカウントを作成



※本入試においては、表示言語は「日本語」を選択してください。

③ 登録を完了

必要な情報を入力した後、登録したメールアドレス宛に登録確認のメールが送信されます。そのメール文中にある「登録を完了する」をクリックしてください。

※なお、TAOへログインすると、トップページに“出願を開始する前に「基本情報」を入力しておく、複数の募集に出願する際に、共通の情報は自動的に反映されます。”(上図赤線参照)との記載が表示されますが、本入試制度においては、TAOの「基本情報」は使用しませんので、入力は不要です。

④ ログイン後、出願受付中の大学の中から「早稲田大学」を選択。



- ⑤ 学部 / 研究科名: 「法学研究科」 を選択
- ⑥ 募集名: 「法学研究科 2027年4月入学 修士課程 国外特別入試」 を選択
- ⑦ 「出願を開始する」をクリックし、必要項目に入力・書類の提出
- ⑧ 全ての入力および書類提出ができたことを確認し、「出願を完了する」 を選択

※上記画面と申請画面が異なる可能性があります、「出願を完了する」を選択いただければ問題ありません。

※必ず、「出願を完了する」まで実行ください。押し忘れに注意してください。「出願中」の場合は受付ません。

<出願上の注意>

- ・入学検定料支払いと出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。
- ・出願書類の提出はすべてWeb出願システム(TAO)で行います。郵送、大学窓口への持ち込みは一切認めません。
- ・出願期間を過ぎた出願は一切受け付けません。
- ・志願者の利用するPC等のデバイスやネットワークの不調等により出願期間内に申請が完了しなかった場合も、本学では一切責任を負いません。
- ・出願手続き完了の有無に関する問い合わせにはお答えできません。
- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受理しないことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また本研究科から連絡があった時はすみやかにその指示に従ってください。
- ・本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。不正行為と認められた場合、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ・志望動機やエッセイ、研究計画書等は、本研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成AIを使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。
- ・出願時に TAO上で提出する証明書類(卒業証明書・成績証明書等)は、デジタルコピー(原本のPDF等)で可していますが、**合格後、入学手続の際には、全ての当該証明書の原本を提出いただきます。**入学手続締切日までに原本が提出されなかった場合、あるいは出願時に提出されたデジタルコピーと内容が異なるものが提出された場合は、入学手続未了とみなし、入学許可を無効とすることがあります。
- ・TAOより提出したデジタルコピー(原本のPDF等)が不鮮明で読解不能な場合、書類不備として扱い、出願を受理しないことがあります。証明書等PDFをTAOにアップロードする際はご注意ください。
- ・証明書は氏名・生年月日・国籍等が、パスポートの記載と一致しているものを提出してください。二重国籍による複数の氏名表記がある場合には、同一人物であることを確認できる証明書(全てのパスポートのコピーなど)を併せて提出してください。一致していない場合、出願は受理されません。
- ・出願後に、TAOに登録された住所・電話番号・Eメールアドレス等を変更した場合は、速やかに本研究科事務所に連絡をしてください。登録情報を変更したことが原因で本学からの連絡が届かなかったとしても、本学は一切の責任を負いません。

(6) 出 願 書 類

※出願書類に不備や不足書類があった場合には、出願を受理しないことがあります。

※【所定書式】は、本研究科ウェブサイトよりダウンロードください。

<p>志願票 【所定書式】</p>	<p>・全ての項目において、漏れなく、誤りの無いよう記入してください。出願後に、志願票に記載した住所・電話番号・Emailアドレス等を利用して本研究科より連絡を取ることがありますので、間違いの無いように記入してください。</p> <p>・学歴について、予備校・語学学校などの記入は不要です。</p> <p>・記載した同じ内容を、出願システム（TAO）にも入力いただきます。</p>	
<p>入学検定料 収納証明書</p>	<p>■検定料を支払った際の、決済完了が表示された Web サイトの PDF</p>	
<p>顔写真 (縦4：横3)</p>	<p>1. 出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真（タテ4：ヨコ3の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし）をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。</p> <p>2. マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。</p> <p>3. 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。</p> <p>4. 顔写真には加工・修正を施さないでください。</p> <p>5. スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真（スピード写真可）で撮影してください。</p> <p>6. 入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種 Web サービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>7. 提出書類の偽造（顔写真の加工・修正等）が判明した場合、不正行為認定の対象となります。</p>	
<p>各種証明書 <原本提出> <日本語または英語></p> <p>①卒業（修了）証明書 ②成績証明書 ③学位取得（見込）証明書 <中国の大学出身者のみ> ④Online Verification Report (CSSD) <中国の大学出身者のみ></p>	<p>証明書類共通</p>	<p>注1. 証明書は日本語または英語で書かれた公式のものを提出してください。他言語の場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。</p> <p>注2. 志願票の「学歴」欄に記載した学歴について証明する証明書をすべて提出してください。 (大学の科目等履修生に在籍されていた方は、必ず在籍を証明する証明書も提出してください)</p> <p>注3. 大学卒業後、大学院に進学した場合は、大学と大学院の証明書の両方を提出してください。</p> <p>注4. 大学・大学院に在学中に留学をされた場合は、留学期間および留学中に取得した成績が明記された証明書を提出してください。</p> <p>注5. 休学・兵役等の期間があった場合は、その旨を証明する大学または公的機関発行の証明書を提出してください。</p> <p>注6. 証明書記載の氏名と出願氏名が異なる場合は戸籍抄本等もご提出ください。</p> <p>注7. <u>中国の大学を卒業(修了)し、学位を取得した学生は学位取得証明書と卒業(修了)証明書の両方を提出してください</u> (中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格はあります)。</p>
	<p>①卒業（修了）証明書 <卒業（修了）見込みの者は卒業（修了）見込証明書></p>	<p>1. 大学が発行した証明書を提出してください。（要大学印）</p> <p>2. 学歴に記載した全ての大学（<u>学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む</u>）の各証明書を提出してください。</p> <p>3. 入学・卒業（見込）年月も記載されているものを提出してください。</p> <p>4. <u>卒業(修了)見込の場合は、卒業(修了)見込証明書を提出し</u>、合格後、入学手続を行う際に卒業(修了)証明書/学位取得証明書(中国の大学(大学院)卒業(修了)の場合のみ)を必ず提出してください。</p> <p>5. 非正規課程に在学していた経験があり、卒業（修了）証明書が発行されない場合は在学期間を示す証明書（在学期間証明書）などをご提出ください。</p>
	<p>②成績証明書</p>	<p>【中国の大学出身者】 ※卒業証明書に卒業番号も記載されているものを提出してください。記載がない場合は卒業証書のコピーを提出してください。</p> <p>1. 成績証明書は、<u>大学学部以上の全学期の成績</u>が記載されたものを提出してください。大学卒業後、大学院も修了（見込含む）した場合は、大学・大学院両方の成績証明書を提出してください。</p> <p>2. 編入学している者は編入学前の学部の成績証明書も提出してください。</p> <p>3. 飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由等が証明書に記載されていない場合は、それを証明する大学作成の書類を提出してください。</p>

	③学位取得（見込）証明書	<p>【中国の大学出身者のみ提出】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国の大学を卒業し学位を取得した方は提出してください。 2. 学歴に記載した全ての大学（学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む）の学位証明書を提出してください。 3. 学位を取得していない場合は、提出書類チェックリストの不足書類欄に記入してください。 <p>※中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格はあります</p>
	④ CSSD (CHESICC) Online Verification Report	<p>【中国の大学出身者のみ提出】</p> <p>CSSD (CHSI) 発行の以下3つの認証証明書を出願システム (TAO) にアップロードし、本研究科 Email アドレス宛 (gradlaw@list.waseda.jp) への直送も手配ください。Email への直送は出願期間前に到着した場合にも受理いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成績の認証 全員：英文の「Online Verification Report of Higher Education Students Academic Transcript」 ※出身大学が CSSD (CHSI) の成績認証サポート対象外の場合には、その旨を別紙に記載し、TAO にアップロードしてください。 2. 卒業（修了）の認証 卒業者：英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」 卒業見込者：英文の「Online Verification Report of Student Record」 3. 学位取得の認証 卒業者：英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」 卒業見込者：卒業確定後（法学研究科入学前まで）に上記認証を提出ください。 <p>※ご自身での TAO へのアップロードと CSSD (CHSI) からの Email 直送、両方が必要です。 ※学歴に記載した全ての中国の大学（学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む）のものを手配してください。 ※CSSD (CHSI) についてはこちら (www.chsi.com.cn) を確認してください。</p>
志望理由書 [所定書式]	志望理由書には、本研究科を志望する理由を今まで培った自身の法学に関する知識や経験、学習経歴などと関連させて1000字程度にまとめてください。	
修士論文計画書 [所定書式]	<p>【字数制限なし】</p> <p>入学後に執筆する論文の「テーマと構成（章立て） / 問題関心 / 分析対象・史資料 / 分析の方法・資格 / 先行研究の概要 / 先行研究に対する当該論文の位置 / 文献目録」等を記載した計画書を作成してご提出ください。</p>	
語学能力証明書	<p>①日本語能力試験 (JLPT) 1級もしくはN1合格の「認定結果及び成績に関する証明書」 ②日本留学試験 (EJU) 「日本語」の成績（記述を除く）260点以上の「成績通知書」</p> <p>※①もしくは②のいずれかを提出してください。 ※必ず点数の記載があるものを提出してください。 ※他言語の言語能力証明書もある場合は上記と併せて提出してください。</p>	
推薦状2通 [所定書式]※	<p>※所定書式の使用を推奨しますが、所定用紙以外の推薦状でも出願可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語または英語で書かれた推薦状を2通（推薦者2名より各1通）提出してください。 ・必ず、少なくとも1通は法学分野の教員に依頼してください。 ・推薦状は、必ず推薦者より本研究科 Email (gradlaw@list.waseda.jp) 宛に PDF ファイルを直接送付するよう、ご自身で各推薦者に依頼してください。 ・出願期間前の提出（送付）は認めますが、出願期間後の提出は受け付けません。時間に余裕をもって依頼をしてください。 ・推薦状は、2026年4月以降に作成したものとし、日本語または英語で作成してください。 <p>※それ以外の言語でしか提出ができない場合には、事前にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入は出願者自身を勉強面・生活面全般でよく理解している方に依頼してください。（例：所属した大学の教員等）。 <p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご自身で作成された推薦状は受け付けません。 ・推薦者本人からのEメール添付でのみ受け付けます。 ・内容確認のため、本研究科から推薦者に連絡をすることがあります。 	

パスポート/ 在留カード	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が掲載されたページ のコピーを提出してください（有効期限に注意をしてください）。 ・在留資格を所持している場合は、在留カードの両面コピーも提出してください。
留学にかかる 経費負担計画書 〔所定書式〕	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に、本学に留学する間の総費用（修士課程2年分の学費及び生活費）をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。 ・志願者本人の署名を忘れないようにしてください。 ・経費負担計画書の「政府またはその他財団（Government/sponsoring agency）」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書を提出してください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・その他自分をアピールできる成果物（出願分野に関する自筆の論文や受賞歴、職歴に関する資料など）があったら提出してください。（任意）。

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続き時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない(入学資格を満たすことができない)場合は、入学を認められませんので注意してください。

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続きの必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、法学研究科事務所 (gradlaw@list.waseda.jp) までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

(7) 受験票

出願が受理された志願者の受験票は第1次選考合格者発表日の1週間前までにTAO上にアップロードされます。口述試験の際に確認いたしますので、各自紙媒体へ出力してください。第1次選考合格者発表日の1週間前になってもTAO上で確認できない場合には、本研究科 (gradlaw@list.waseda.jp) にお問い合わせください。

(8) 選考方法および合格者発表

第 1 次 選 考 (書類選考)	第 2 次 選 考 (事前課題、口述試験)		
合格者発表日・事前課題発表日	事前課題提出期限	口述試験実施期間※	最終合格者発表日
2026年6月18日(木) 午前 10:00	2026年6月22日(月) 午前 10:00	2026年6月30日(火) ～7月3日(金)	2026年7月16日(木) 午前 10:00

※上記はすべて日本時間です。

※口述試験の日時は、記載の期間のうちのいずれか1日を第1次選考合格者発表時に本研究科が指定します。

※合格者発表は記載の日時に本研究科Webサイト上で合格者の受験番号を発表します。

法学研究科Webサイト：<http://www.waseda.jp/folaw/glaw/>

(9) 事前課題

第1次選考(書類審査)に合格した方に対し、第2次選考(口述試験)の前に事前課題が課されます。事前課題は第1次選考の合格者発表の際に対象者のみに対し、志願票記載のEメールアドレス宛に別途通知します。第1次選考合格者は提出期限までに本研究科宛て(gradlaw@list.waseda.jp)に事前課題を提出してください。第1次選考合格者であっても、提出期限までに事前課題が提出されなかった場合には、受験辞退とみなし、口述試験は実施されません。

Eメールの受信設定により迷惑メールと認識される場合もあるため、第1次選考に合格したにも関わらずEメールが届かない場合は、本研究科にご連絡ください。ドメイン指定受信を設定している場合もあるため、「@waseda.jp」「@list.waseda.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

(10) 第2次選考（口述試験）試験について

第2次選考(口述試験)
第1次選考合格者は事前課題提出後、オンラインにて口述試験を実施します。 具体的な試験実施方法等の詳細は、第1次試験合格者発表時に対象の方にお知らせします。

(11) オンライン口述試験の注意事項

- ①安定したインターネット回線、Webカメラ、マイク、イヤホン、スピーカー等を事前に準備してください。通信機器はパソコン等に内蔵されているものを利用いただいても構いません。
- ②口述試験の際には、周囲に人がいないことを確認いたします。周りに第三者のいない静かな環境を保つことのできる場所を確保してください。
- ③口述試験開始時間は本研究科にて指定いたします。個別のご要望には応じかねますので、あらかじめご了承ください。指定時刻までにアクセスが確認できない場合には受験辞退とみなします。
- ④オンライン口述試験の映像、音声は、入試選考に利用するため、録画、録音、撮影を行います。予めご了承ください。なお、受験者による録音、録画、撮影は禁止します。

(12) 「不正行為」に関する注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、適切な受験環境の保持に努めています。

本学入学試験の受験に際しては、以下に定める注意事項を熟読のうえ、真摯な態度で試験に臨んでください。

- a. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等（以下、「本提出書類等」といいます）に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。
- b. 次のことをすると不正行為認定の対象となります。
 - ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机等にメモをする、メモを見るなど）。
 - ②試験時間中に、答えを教える等他の受験者を利するような行為をすること。
 - ③試験時間中に電子機器等の音（着信・アラーム・振動音等）を鳴らすこと。
 - ④試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤試験場において監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑥受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑦その他、試験の公平性・公正性を損なう行為をすること。
- c. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
 - ・監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・別室または別席での受験を求めること。
 - ・本提出書類等につき、その真正性等を確認するために、本学が発行元・提供元または論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとす。
- d. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとります。
 - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消の対象とします。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍大学・出身大学・保護者等への報告を行う場合があります。

以上

(13) 不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

(14) 出願書類および入学検定料の返還について

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は早稲田大学大学院法学研究科（E-mail: gradlaw@list.waseda.jp）まで至急ご連絡ください。以下条件に該当する場合でもご連絡がない場合やご連絡が大幅に遅くなった場合は返還できないこともありますのでご注意ください。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

3. 入学手続

(1) 入学手続期限

最終合格者に対し、2026年11月下旬頃に入学手続について、書類を発送いたします。

手 続 期 限 : 2026年12月中旬(予定)

※詳細は最終合格者に別途お知らせいたします。

※所定の期間内に①入学手続情報のweb入力、②入学手続料(登録料・学費・諸会費)の納入、③入学手続書類提出(郵送)の3点を完了することで入学手続が完了します。

※「登録料」は入学者に限り「入学金」に振り替えます。

※所定の期間内に提出していただくのは入学手続書類の一部のみです。手続書類の中には、来日後に記入・提出していただくものもあります。

※手続書類の一部はTAOに登録された住所宛に送付します。住所を変更する場合には、予め必ず連絡をしてください。

※入学手続についての詳細は、2026年11月下旬にお送りする書類「入学手続の手引き」をご参照ください。

(2) 入学金・学費・諸会費

2027年度入学者 入学金・学費・諸会費

(単位:円)

年度	納入期	入学金	学 費		諸会費					合 計
			授業料	演習料	学生健康増進 互助会費	学会 入会金	学会費	学友会費	校友会費	
初 年 度	入学時 (春学期)	300,000	311,000	1,500	1,500	5,000	1,000	1,250	—	621,250
	秋学期	—	311,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	—	316,250
	計	300,000	622,000	3,000	3,000	5,000	2,000	2,500	—	937,500
第 2 年 度	春学期	—	461,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	—	466,250
	秋学期	—	461,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	40,000	506,250
	計	—	922,000	3,000	3,000	—	2,000	2,500	40,000	972,500

- (注意) 1. 本学、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、登録料が返還されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。
2. 早稲田大学法学部等に在籍したことがある場合は、学会入会金は免除となります。ご自身が該当するかどうか不明な場合は、本研究科事務所までお問い合わせください。
3. 校友会費は本学学部出身者、編入学者は免除されます。
4. 演習料・諸会費は改定されることがあります。

一度提出した書類および納入した登録料、学費・諸会費(春学期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(春学期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

※本研究科と、他の研究科や学部にも、正規学生の身分で重複して在籍することはできません。

外国学生（外国籍）の方へ

在留資格についての Web サイト：<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>

在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。**「留学」以外の在留資格の場合は、上記のような留学生対象の各種補助制度は利用できませんのでご了承ください。**

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。以下の(1)～(6)をよく読んで、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書交付申請など必要な在留手続を行ってください。**在留手続を行うには入学手続料等の納入を完了していることが必要です。**手続きに「入学許可書」が必要な場合は、希望者に対し入学予定学部／研究科事務所で発行します。

(1) 「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。手続に関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格のWebサイト内、「入学前の方へ」の[「留学」の在留資格を持っている方](#)を参照してください。

(2) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「(4) 在留資格を有していない場合」を参照してください。

(3) 上記以外の在留資格を有している場合

現在の在留資格に該当する活動が終わる場合は、「留学」の在留資格に変更が必要です。「家族滞在」など、状態が変わらない場合は必要に応じて在留資格を変更してください。手続に関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格のWebサイト内、「入学前の方へ」の[「「留学」以外の在留資格を持っている方](#)を参照してください。

【注】在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、早稲田大学の押印のある書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を大学に提出する必要がありますので注意してください。

(4) 在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility = COE)を申請する必要があります。早稲田大学では**入学手続を完了した国外居住の外国籍学生に限り**、本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。代理申請後、COEが出入国在留管理局より交付され早稲田大学に送付されましたら、早稲田大学留学センターから申請者に送ります。COEを受け取った後は、パスポートとともに持参し、国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ(査証)を申請してください。COEの有効期間は3か月です。有効期間内にビザを取得し渡日する必要があります。出入国在留管理局での審査には2か月程度を要しますので、申請が入学直前にならないよう注意してください。

【注】代理申請は、入学手続料等の振込を完了しないと行いません。

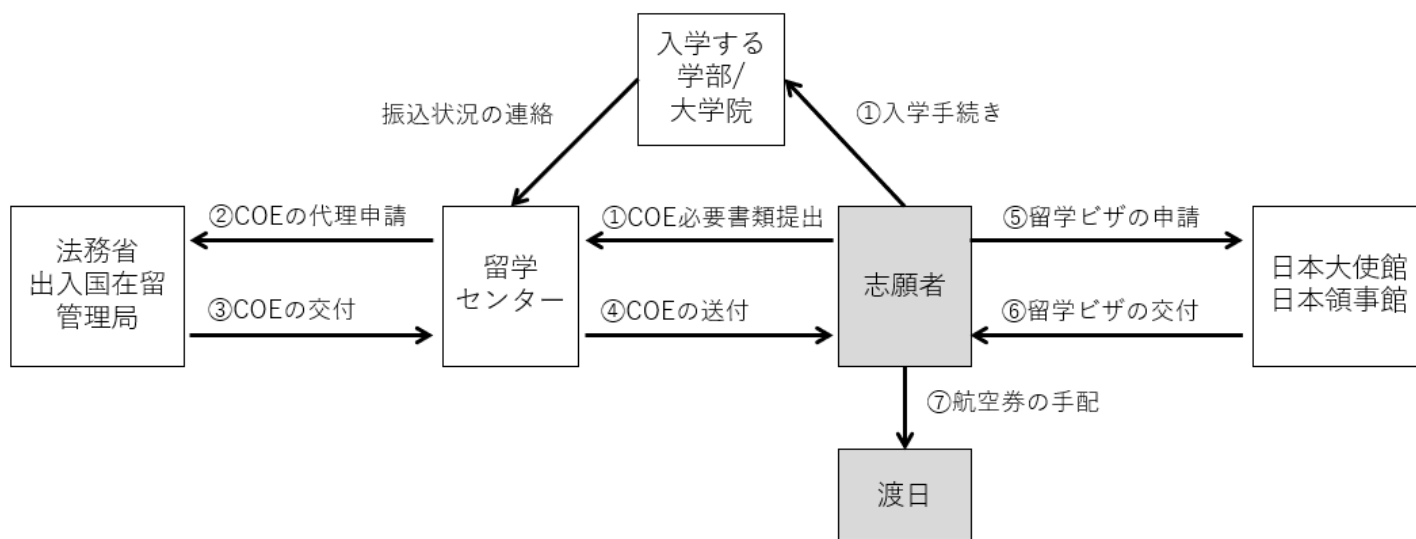
【注】代理申請に必要な書類と送付先については合格者に対し、入学手続案内時にご案内いたします。

【注】フィリピン/ベトナム/インドネシア/ネパール/ミャンマー/中国の国籍を有する志願者は在留資格認定証明書(COE)の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出を求められます。国によって適用開始時期が異なりますので、対象国の国籍を有する方は、以下の資料で詳細を必ずご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/40765>

【留学ビザ取得までの流れ（①→⑦）】

- ※ 留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。
- ※ 留学センターにCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館・領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。



(5) 在留資格の取得、変更（自己申請）

〈査証免除／短期滞在の資格で入国している場合〉

査証免除／短期滞在（観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合）で入国した場合、原則として一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末（2月末、3月）でCOEの交付が遅く、新学期前に帰国が難しい場合は、COEが発行されたら、出入国在留管理局で資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請となりますので、在留資格の変更が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、本学は一切責任を負いません。

【注】30日以内の短期滞在の資格の場合、日本での資格変更はできませんので、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。

(6) その他注意事項

- ・早稲田大学留学センターが代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、至急留学センターにお知らせください。また、他大学にも合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、COEは交付されません。
- ・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、本学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター（E-mail : cie-zairyu@list.waseda.jp）へ問い合わせてください。

法 学 研 究 科 案 内

本研究科では、修士課程に民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻の3専攻を設置し、その各々に研究指導・専修科目・専修科目以外の科目を設置しています。入学を希望する専修からのメッセージが以下に掲載されていますので、出願前にご確認ください。

1. 専修からのメッセージ／配当科目

◎各専修からのメッセージ

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/applicants/message/>

※2026年7月下旬に更新予定。

◎2026年度配当科目

https://www.waseda.jp/folaw/glaw/students/guide/#anc_3

◎法学研究科について

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/about/>

2. 奨学金について

本研究科で受給できる主な奨学金制度は以下を参照ください。

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/applicants/scholarship/>

以 上

2026年4月公開

早稲田大学大学院 法学研究科

事務所開室時間：平日10時～16時（土日祝日は閉室）

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/>

gradlaw@list.waseda.jp